

越冬隊 友の会 ニュースレター 特別号

秋山隊長 追悼記念号

Dec. 2016

編集・発行 越冬隊 友の会



樋野興夫先生

順天堂大学医学部 病理・腫瘍学 教授
一般社団法人 がん哲学外来 理事長
「越冬隊 友の会」顧問

追悼

秋山美奈子様～「a person who does handsome」『(新島襄(1843-1890)の妻)』の甦り～

今年は、アメリカ時代の恩師:Knudson 博士、癌研時代の恩師:菅野晴夫 先生、「がん哲学外来」越冬隊友の会 会長 秋山美奈子 様、3 人を失った。本当に、悲しい。涙なくて語れない。「泣くのに時があり、ほほえむのに時がある。嘆くのに時があり、踊るのに時がある」の厳しい現実である。今は、まさに「泣く時、嘆く時」である。秋山美奈子 様は、『病気であっても 病人ではない～あなたは そこにただで 価値ある存在～』の見事な地上の生涯でした。

妻の美奈子ですが去る 11 月 10 日に他界いたしました。約 7 年前に卵巣癌を発症し、5 年経過後の検査で再発が見つかり、このころから人生のゴールを覚悟し、不安の多い中、悩んでいた時に姉の紹介で癌哲の存在を知りました。『病気であっても病人ではない。』『まだまだ自分には生かされる場所がある。』自分の存在を確かなものにしていくロードマップを描き始めました。樋野先生、癌哲の皆様との出会いが妻の人生をどれだけ豊かなものにしていただいたことでしょうか。限られた命を悔いなくやりたいことをやり遂げた充実感に溢れ、最後は「もうこれでおしまい」と言わんばかりに穏やかに逝きました。とても聡明で輝いていました。妻の存在が少しでも皆様の心の中に残れば幸いです。皆様には大変お世話になり心より感謝申し上げます。今頃は空を自由に飛び回り、カフェ巡りをしながら私とハンナを見守っているのかな。今回、婚約式をあげさせていただいたひばりが丘教会で追悼記念講演会を催していただけることに感謝の気持ちでいっぱいです。妻に代わりまして厚くお礼申し上げます。
秋山敏之

艱難突破、氷山を壊して越冬隊の行く道を確保してくれました。そして、隊長自身が大変なのに、再発した私を守ってくれました。同病ゆえ、難しい時期もありましたが、隊長に出会えてよかった、ありがとう！ 忘れない！
「越冬隊 友の会」広報 角田万木

秋山さんは昨年からラジオにご出演いただくようになりました。この一ヶ月を振り返って何か気になったこととお話いただくコーナーでは、いつも着眼点が素晴らしい国際的な話題をご紹介くださり、番組に「格調高さ」を添えて下さいました。感謝の気持ちでいっぱいです。
ラジオ NIKKEI 「日曜患者学校 樋野興夫のがん哲学学校」アナウンサー 大橋 都希子

収録のあの時が、秋山さんからの「贈り物」の1つでした。楽しく和みながら満ち足りた「今」を、ラジオ収録のご主人との対談の場で表現されていました。“生き生きと喜びを伴って今を輝いて”生きるとは、どういうことか教えてくださいました。どうか天上でも越冬隊隊長として、おしゃれに聡明に愛情深く任務を果たしていただきますように願ってお祈りしています。
「越冬隊 友の会」名古屋支部局長 彦田かな子

「越冬隊 友の会」連絡先:
副会長 大弥佳寿子 TEL042-395-2140
kzoya@aa.bb-east.ne.jp
後援:一般社団法人 がん哲学外来

埼玉県川越市にあります to be cafe を主催しています佐野泰道です。2014 年、秋山美奈子さんはお姉さまから「がん哲学外来カフェ」を紹介され、自宅近くにあった私たちのカフェに来てくださいました。そのご縁があって、「お別れの会」の依頼をいただきました。11 月 14 日。お別れの会には、約 80 名の方々が来られました。4 名の方が思い出を語られ、美奈子さんらしいエピソードを伺うことができました。生きることに真摯に向き合った美奈子さんの姿が、出席者の心に刻まれました。
to be café
川越市笠幡 722 049-233-0011(霞ヶ関キリスト教会)
佐野泰道

あいらしい美奈子さん
きれいな美奈子さん
やさしい美奈子さん
まめで責任感の強い美奈子さん
みんなが大好き美奈子さん
なにかま思いの美奈子さん
ことう的な美奈子さん

あなたのようにウイットに富んだおしゃべりはできないけれど、私らしく思い出創りをしていきます！あなたと出逢えてヨカツタ。あなたと一緒にすごせてヨカツタ。ありがとうございます！
「越冬隊 友の会」庶務 小林真弓

「こっちは出会いまででしたので、いずれ、あっちでは三日三晩一緒に歌いましょう！」
小林範之

秋山隊長！今どこに居ますか？短い間でしたが、隊長の素敵な笑顔に出会い色々な話が出来た事に感謝致します。絶対に忘れません。だから認知症にはなりません。お別れの会の時に御主人が仰っていましたよ。「今までで一番綺麗な顔だった」と。いい覚悟で生きて病気であっても病人ではないと言う隊長の生き様をしっかりとこの目に焼き付けました。今頃は自由に気の向くままにあちらこちらを飛び回っているのかな？これからも越冬隊を見守って下さい。今まで、楽しかったです。感謝申し上げます。ありがとうございます。
「越冬隊 友の会」ボディガード 多田敏紀



第 1 回「越冬隊 友の会」記念シンポジウム
2016 年 2 月 25 日 ラジオ NIKKEI 第 2 スタジオ
「日曜患者学校 樋野興夫のがん哲学学校」

いつも笑顔ではつらつ、相手への気遣いを感じさせず、優しさで包んでくださる美奈子さん。氷山を越えての出会いを心から感謝いたします。あなたがいなければ、ひばりが丘のカフェはまだ生まれていなかったかもしれません。これからは天国のカフェから私たちを励ましてくださいね！
がん哲学外来メディカルカフェひばりが丘 田鎖夕衣子

秋山隊長は、いつも、どんな小さなことにも、大きな愛をこめられ、勇敢に自分らしい生き方を貫かれた方でした。共に過ごせたことを誇りに思います。沢山の「贈り物」をありがとうございました。
「越冬隊 友の会」副会長 大弥佳寿子